

レジメン名称: Moga-CHOP q3w

CCR4 陽性成人 T 細胞白血病リンパ腫

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日 1 コース 3 週間																					
		Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
ポテリジオ	1 mg/kg	↓ (8回まで)																					
プレドニン	100 mg/body	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ (day2 からは内服、計 5 日間投与)																					
ドキシソルビシン	50 mg/m ²	↓																					
オンコビン	1.4 mg/m ² (最大 2mg)	↓																					
エンドキサン	750 mg/m ²	↓																					

レジメンオーダ以外に必要な処方

カロナール(200) 2錠、1× 1日分 ポテリジオ投与 30分前

プレドニン(5) 20T 2×朝昼食後 4日分、化学療法翌日から

注意事項

ポテリジオ: インフージョンリアクション (気管支痙攣, 蕁麻疹, 低血圧, 意識消失, ショックなど) に注意。

皮膚障害に注意。前処置薬は必須 (解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、副腎皮質ホルモン剤)

1回目: 投与時に心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり (詳細は投与方法の項を参照)

ドキシソルビシン、オンコビンは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

ドキシソルビシン: 総投与量 500 mg/m² 以下

投与方法: 1日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たす、ゆっくり (ルートキープ)
2	ポテリジオの 30分前に ポララミン注 1A 静注、側管から
3	ポテリジオの 30分前に ソル・コーテフ(100) 1A、生食 20mL 静注、側管から
4	ポテリジオの 30分前に カロナール(200) 2錠 内服
5	ポテリジオ _____ mg、生食 250mL、2時間かけて メインルートから投与 初回のみ下記を実施 心電図モニター 投与前、5分後、15分後、30分後、終了時後: BP、HR 測定 投与前、5分後、15分後、30分後、終了時後: 全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気)
6	生食 50mL メインルートから投与 ゆっくりルートキープ、15分間投与 (残破棄可)
7	グラニセトロン (3mg/100mL) 1V 30分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
8	プレドニン 100mg、生食 10 mL、下の側管からゆっくり静注
9	ドキシソルビシン _____ mg、生食 100 mL、30分かけて点滴、ケモセーフロックのルートより投与
10	オンコビン _____ mg、生食 50 mL、10分かけて点滴、ケモセーフロックのルートより投与
11	エンドキサン _____ mg、生食 100mL、60分かけて点滴、ケモセーフロックのルートより投与
12	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄